

夕刊東北新報
本報は、昭和四年三月九日創刊。
発行所：石城郡平町白旗。
印刷所：石城郡平町白旗。
電話：二二二。

無効投票中三名は 平町役場で認め難い

平町柳町居住の若松武一郎君は満場一致有効投票と決故に結局二名だけの無効で氏外佐川友太郎、吉田政吉定したのであるが佐々木某あるから當選した町會議員の二氏が這般の平町議選舉外二名の分は全く町會に諮るに異動は生じないと云ふの當日他町村へ轉出して平町を離れずして縣選舉會に提出し あるも然し町當局として公民権を失格したにも拘らぬ之れに町會は縣選舉會に於ける裁決のらす投票したと云ふので無都合六名と云ふ事は認め難理由が不明であるから縣告知投票の異議が當時平町録い故に一名を有効投票とし示によつて態度を決すか方不庫左右氏外數名提出され五名を無効とする場合は佐針に出るらしい

成行非常に注目さる

……某吏員縣參の裁決を反バク 故に當選町議には異議なし

遺失拾得物も 緊縮の餘波をうけ

……そんな細いものでも キチンと受取つて行く 家政整理緊縮の聲は遂に平年筆一本を落し、新しい無効故當選議員二名は失格警察署の窓口にて影響し方がいから金額を少しである云ふ裁決を興へたがそれは何時の世にもあも願慮しなかつたものが二ので平町役場には六名は意拾得品のことで最近まで三圓あれば子供の着物が買外である同町會では若松外は少額の金子殆んど無價値へると萬年筆一本が二重負二名を有効と認められた他のに等しい品物は落しても届擔が避けることとなる同署三名佐々木喜一、柴崎忠太け出でず千はれてあつても扱つた落し物は四月一〇中川西蔵の分は知らぬと云受取りに來なかつたのが何四件、五月一〇八件、であふ事になつたので、こゝに與も彼も節約の世の中となつたが夏季に入つて衣類の石城郡貝泊村緑川タマノ三日同村蛭田テツ(一九)が病勿來町窪田郷社國魂神社大味ある問題を惹起するに至る所向きもつましくなつた關係から落しやすくなり七三外十三名が腸チフスに罹死後腸チフスと判明病臥中祭は十九日御輿の渡御等あつたと云ふ事は平町會は結果は無暗と慾張り出し月一四八件、八月一五四件りその他患者が續出する腸チフスと知らず自宅前酒酒を醸造して神前に供きに鈴木某より若松外二名落したのも正確に届け出九月一五二件となり十月はので植田警察署では縣衛生の小川に於て同人の汚物をへ戰國時代の遺物たる粕つ

當時之れを有効と認めて町くやうになつた二三圓の萬の外の金額では四月五十五出張調査をなした處去る七れた爲めその川水を使用する祭式である

圓であつたのが五月入出がオで放送する宜かあつた取引總貫數は二萬五千八増加し六月八十二圓七月八十五圓六百二十圓、これが十三圓、八月七十圓、九月總金高十五萬七千十三圓十六十一圓である何れにして三錢で此の期の内最も領のも細かいことまで緊縮の好かつたのは九月二十七日餘波が響いて行くのであるの八十圓で安値として十月初旬の三十一圓であつた一日平均に見ると六十二圓の相場極めて順調な好を續けてゐた

四倉爾市場 夏秋爾總取引 二五〇八五貫

有限責任石城販賣利用組合の四倉爾市場は昨十一日を以て打ち切りとなつたが八郷社大祭翌日たる二十日に月二十七日開場以來五十三で青訓等参加し盛況を極む日間で其の日の相場はラヂ等

銀行荒しの大賊 二萬圓を強奪した

平署では十九日午前十時から管内巡査の出署日を期し町に逃走し來り翌日は鎌田で豪遊後姿を消す 東京日本橋區東京銀行で捕賊演習を行つたが假裝賊は去る十七日夜二人組のは何れも署員に逮捕されて強盜が忍び入り宿直行員好成绩を納め同二時餘岡次を脅迫して現金二萬圓を席の好評訓辭あつて散會し強奪直ちに上野驛から平た

腸チフス續發 患者と知らずに 汚物を洗つた失態

植田衛生課と共に撲滅 十九日御輿の渡御 國魂社大祭 勿來町の 身元不明の 男の縊死

石城郡小名濱町字蛭川地内

復活の磐城銀行 公金預金對策協議 委員會で諒解を求む 關係者は承認する模様

青年會館 盛大に開館式

石城郡勿來町では元小學校跡に青年會館を建築中であつたが此の落成式したので明二十日午前八時より盛大な開館式を舉行する因みに工費は千五百圓で全部寄附になつたのだが和洋折衷の美館である

川部消防組 秋季檢閲

川部消防組幹部は十六日午前九時より集合しガソリンポンプ試運轉の上同村駐在所に秋季檢閲を十二月一日と決定しその他火防に盜難殊に豊作物に對しての協議があつた

柱と衝突し 坑夫生命危篤

相馬郡生れ當時石城郡好間村小田炭礦坑夫高倉薫(二八)は去る十二日午前十一時頃同坑中に於て運炭作業中誤つて坑内の支柱をくじり衝突し、重傷を負つたが生命危篤なので十六日平署から係官出張檢死をなした

身元不明の 男の縊死

一見労働者体 十八日死亡 大町四野ツマ(五〇) 櫻町二添田キナ(七五) 枝子(一一)白銀町三八鈴木ミネ(六〇)

共同墓地に年齢二十七八才位の労働者風の男の縊死体あるを通行人が發見同町警部補派出所へ届出たが身元全く不明な爲め死体を同町役場に引渡し假埋葬した

内郷の八角 保護鳥保護 平署で取調中

石城郡内郷村大字宮字澤居住坑夫八角喜代治(二四)は十五日午前十一時頃同村の山林で保護鳥山ガラ雌一羽を捕獲し自宅に持ち歸り飼育してゐたのを同村巡査に發見され目下平署で取調中

茨城縣内に 平局通話 區域擴張した

平郵便局では來る十一月一日より茨城縣内に通話區域を擴張する所在料金左の如し

平町人事

▲十八日出生 平町立町百三丹野政吉二 男武重、五丁目二二今田 惣吉三男力男、田町六六 館内安治五女トシ、白銀 町九横山頭二女知子、三 丁目二一森林豊吉、堀井 サカイ

一通話▲大村四十錢▲笠 間十五錢▲六戸二十五錢 ▲田崎二十五錢▲高濱三十五錢

病は口より

乳児の養育注意

這へば立、立ば歩めどほどもいものです。また牛乳による自分の一身を捧げて育てて育つてゐる子供である母親の細心の注意に殆どなら在来用ひてゐる長い管ありの一日止まされる様な先の乳首をつけた牛乳壺すきを見る事があります。は掃除は行き届きませんかしかしてその僅な間すきの成るべくおに瓶にかぶため九又の功を一箕にかせることの出来る乳首は用いて取り返しのつかない結ひたいものです。もう一つ果を来すのですがそれは小おしやぶりはなるべく用ひ兒のほいくにたいして母親ないこと、乳児の時には母自身の不注意即ち清潔を怠るが與へなければしやぶる事てあります。清潔は豫めせんが少し成長すると自防上からも亦衛生學からも分て出し入れしたりします必要なことですがいくらか小から用ひない習慣をつけま自身が清潔なれば何れも堅めなゴムで出来たおしやぶらなれないことです。殊に盛夏の候には注意を要します清潔を保つために衣服は子供にせつする場合にはなるべく白いものをまじひたいものです。看護婦の白衣はその意味ですがまた母親が風邪にでもかればその咳によつて子供はすぐ同じ病氣に感染しますからさういふ時には必ずマスクを用ひねばなりません。小兒の口に入る乳首これは充分清潔にしなければなりません。時々アルコールなりほう水でなり拭ふやうにしなればなりません。かういふ注意はながい間に怠りがちですから餘程注意してほし

西洋料理 丸昇軒

電話四三九番

西洋御料理

有聲座の割引券あり
白銀町 丸山雜貨店

御見合の御寫眞は 中島寫眞館

御婚禮の御寫眞は

●緊縮と輸入防漏
純國産品で正確堅牢なるセイコー腕時計を皆様へ切にお薦め致します

◎宣傳の爲め抽籤特賣

- 一等 復興債券(額面百圓) 六十本
- 二等 蓄音器(市價七十五圓) 二百二十本
- 三等 置時計八角形(市價四十五圓) 三百本
- 四等 目覚時計角形(市價四十五圓) 千三百廿本
- 五等 机上時計(市價二十圓) 五萬四千二百本

●期日 十一月三十日まで 空籤なし
平町三丁目
特約店 大谷時計病院
電話十九番

淋病 消力チの妙藥

東京 峰岸淋丹 分舖

一週間分金二圓七十錢 二週間分金五圓 三週間分金七圓
御申込次第密送す

平町南町火の屋下
一週間の御用は一直線に

高久病院

平町田町

電話五一三番

内科、小兒科 醫學士 高久 忠
外科、花柳病科 醫學士 赤羽 清
耳鼻咽喉科 藥劑士 佐竹 菊雄
レントゲン科

イスとテーブルの御用命は 本箱ミツクエ

丸ほん家具店

營業所 平町三丁目 電話五三九番
製造所 平町新田前 電話七二三番

梅毒と體毒を 切らず注射せず治す

獨逸のベルツ博士の發見

ベルツ丸

悩み苦しむ人々よ...速刻服用して其偉効を味はれよ

藥價(輕症用三圓、重症用五圓、頑固用拾圓)
藥價(根切德用廿圓、試用二圓、一圓)

平町五丁目角
地方一手特約店 山野邊藥局

時計の御用は一直線に

ダイヤヤ堂へ

確實...迅速...親切...廉價!

時計・眼鏡・蓄音機・貴金屬
ピクチャーレコード特約店

ダイヤヤ堂 鈴木時計店

福島縣平野町(新道)
電話(呼)八〇五番

世界婦人樂人王 金返効無任責

此の有名な美神丸を、夫婦仲のよくなる美神丸を數ヶ年二百も悪性の子宮病に悩む人を研究臺とし、發明したる理想的の藥劑

主婦之友、婦人俱樂部、婦人界、婦人世界等有名四大雜誌に効果が發表になつております

定價一週分四十錢 十週分參圓五拾錢
平町古鍛冶町(縣社ノ下)

地方代理店 阿康藥店
電話四四番

花 たびら正宗

福島縣清酒品評會 一等賞受領

鹽屋最上醬油釀造元

山崎合名會社

平町土橋 電話一〇番 二七番
東京上野車坂四三
東京支店
電話下谷五七二番

木村科外醫院

電話三〇九番

外科一般(入院隨意)
内臓外科専門
花柳病科

平町六丁目(橋際)

平看護婦會

會長 清野キヨ
平南町 電話三〇七番

看護婦派出の需めに應ず